

## 研究計画書

ゼミ名	林ゼミⅢ	チーム名	The Firewall
タイトル	大情報流出時代		
テーマ群	a) 理論・情報、e) 産業・企業		
メンバー	明石悠希、市原淳志、宇野友康、奥田佳彦、北野夏生、坂井俊樹、田村優治、名和佳輝、西川峻人、畠中弦、堀尾卓人、松尾卓、松下稜、安川眞貴、山本侑樹		
研究計画内容	<p>本年、ベネッセコーポレーションやJALなどによる、企業発の個人情報流出が世間の注目を浴びた。同時にLINEのID乗っ取りや「バカッター」と呼ばれる、twitterを通じた個人発の情報流出も問題となっている。これらから私たちは、個人情報漏洩に対する危機意識が、特に消費者の間で低下しているのではないかと考えた。しかし一方で、甲南大学の全学生を対象に行ったアンケート調査では、有効回答者数3,852の内、約7割の学生がスマートフォンを通じた情報流出は気になると回答している事実がある。情報流出への関心はあるが、なぜそのようなことが起こるのかを理解している者は少ないのではないだろうか。ここに疑問を感じ、実際に情報流出問題がどのようにして起こっているかを調査することとした。また同時に、企業はなぜ個人情報を収集しようとし、それらをどのように活用しているのかについて調査する。そして最後にこれから期待される最新技術を紹介して、あるべき情報活用の方法を提案する。</p> <p>&lt;情報流出&gt; 個人情報はどうにして流出するのか、また個人は情報が流出する危険性を理解した上で、アプリ等を利用しているのか等について考察する。</p> <p>&lt;情報活用&gt; 企業はどのようにして情報を収集し、活用しているのか。企業が情報を活用する際に消費者に提示するアプリの利用規約を検証する。</p> <p>&lt;新技術&gt; 新技術が労働環境や市場にどのような変化を与えるかを考察する。また、新技術に伴う今後の問題を提示し、正しい情報の活用を提案する。</p>		